

本講義資料のご利用にあたって

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

著作権が東京大学の教員等に帰属する著作物については、非営利かつ教育的な目的に限り複製および再配布することができます。

ご利用にあたっては、以下のクレジットを明記してください。

**クレジット：**

**The University of Tokyo 学術フロンティア講義 2024 天田 万里奈**



# AWARE

## Archives of Women Artists, Research and Exhibitions

2024年10月22日

東京大学

学術フロンティア講義 「ジェンダーを考える」

ルイーザ・メイ・オルコット

『若草物語 (Little Women) 』 1968

Adaptation by Greta Gerwig 2019

“I am writing a little story about our lives,  
But I don't think it's good.  
Who would be interested in the story of  
Domestic struggles and joy, it doesn't have  
any importance.”

“maybe it doesn't seem important because  
People don't write about them”

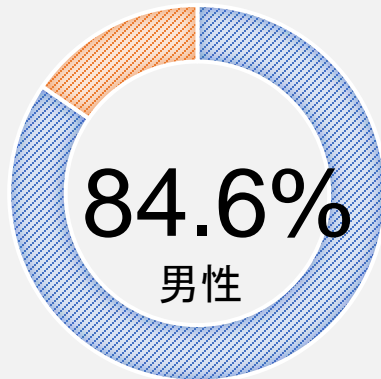
“writing doesn't confer importance.  
it reflects it”

“I don't think so. **Writing will make it more  
Important.**”

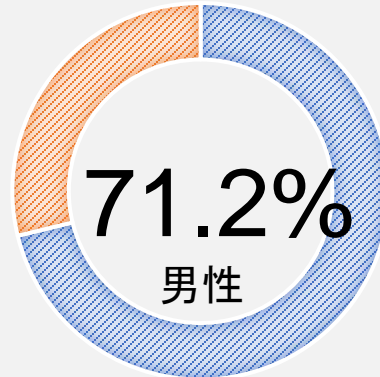
こちらの画像は  
著作権の都合により削除しました。

日本：表現の現場のジェンダーバランス（数字：男性が占める割合）

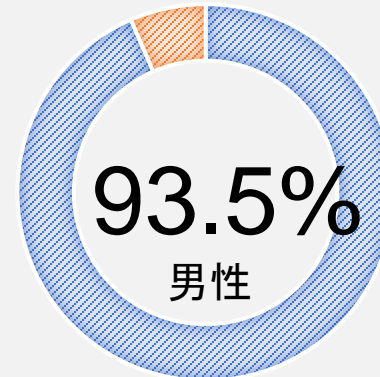
美術館での個展



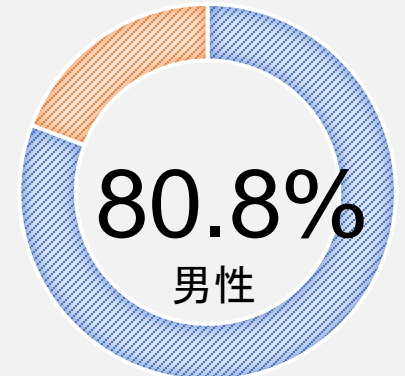
アワードの審査員



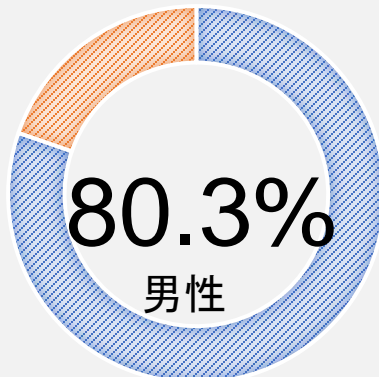
美大の学長



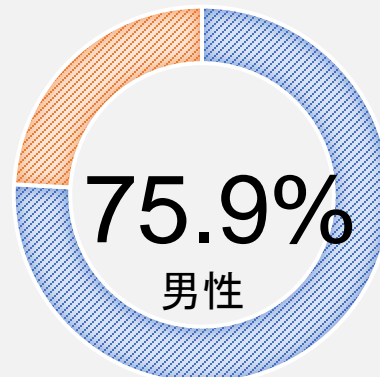
美大の教授



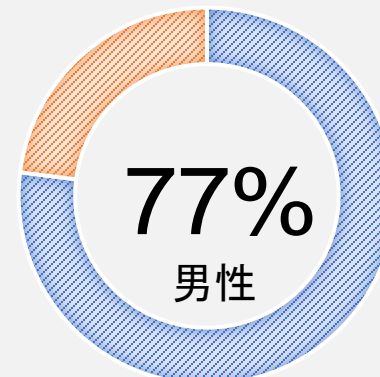
美術館コレクション



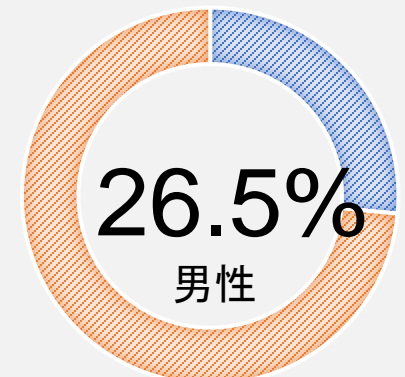
アワードの受賞者



美術評論家



美大の学生



女性美術作家の百科事典ウェブサイト [awarewomenartists.com](http://awarewomenartists.com)として始まったAWAREは2014年の設立以来、18世紀、19世紀、20世紀、21世紀の何千人もの女性アーティストを可視化し、さまざまなコンテンツを通じて情報を世界中に共有することに取り組んできました。バイリンガル（英・仏）のコンテンツはすべて、無料で利用でき、2024年7月からは日本語でもAWAREウェブサイトを利用できるようになりました。

本ウェブサイトは年代的・地理的に広範囲に対応しているだけでなく、提供するコンテンツやマルチメディアの多様さにおいても、専門家および一般の人々にとっても有益なツールとなっています。AWAREは、女性アーティストやジェンダー研究についての研究を普及させるため、協会の拠点であるヴィラ・ヴァシリエフや、国際的な機関、大学、美術館、その他の独立した組織と提携して、シンポジウム、座談会、セミナーを開催しています。

100,000

1ヶ月のアクセスは平均10万を超え、フランスから40%、英語話者国（米・英・カナダ）から30%、残りの30%は世界中の国からのアクセスされています。

1,200

専門家による、女性とノンバイナリーのアーティスト1200名の伝記を完全無料で公開

500

500人からなる研究者、キュレーター、美術批評家からの寄稿

2000


数年中に2,000人のアーティストの伝記を掲載予定

ABOUT INDEX READ WATCH AND LISTEN VILLA VASSILIEFF EVENTS AWARE-USA AWARE-日本

## Index


RESET LIST | MAP

1953 | BRAZIL




Lenora de Barros

1933 - UNITED STATES | 2022 - GERMANY




Dorothy Iannone

1933 | UNITED STATES




Alison Knowles

1937 - JAPAN | 2015 - UNITED STATES




Shigeko Kubota

1933 | JAPAN




Yoko Ono

1943 | GERMANY




Ulrike Rosenbach

1929 | JAPAN



Takako Saito

1938 | JAPAN



Mieko Shiomi

artists

118

Villa Vassiliev - 21, avenue du Maine 75015 Paris (France) - info[at]aware-art[.org] - +33 (0)1 55 26 90 29



LITTLE STORIES OF GREAT WOMEN ARTISTS



24.05.2022

## THE STORY OF FRIDA KAHLO

Little Stories of Great Women Artists is an original project of playful and educational animated ... [READ MORE](#)

[https://awarewomenartists.com/en/series\\_animees/](https://awarewomenartists.com/en/series_animees/)

## 24

女性及びノンバイナリーの作家の人生を語る二つのポッドキャスト・シリーズ

『Women House』 『Great Women of Art』 全24話

## 24

### アニメーション・シリーズ

すべての視聴者、特に中高生や美術愛好家を対象とした31のテーマ別ガイドのアニメーション

## Podcasts<sup>24</sup>

GREAT WOMEN OF ART



25.II.2022

## GISÈLE FREUND

The podcast “Les grandes dames de l’art” (“Great women of art”) giv... [READ](#)

<https://awarewomenartists.com/en/podcasts/gisele-freund/>



<https://awarewomenartists.com/wp-content/uploads/2017/03/10years-aware-2024-press-release-1.pdf>

## 100

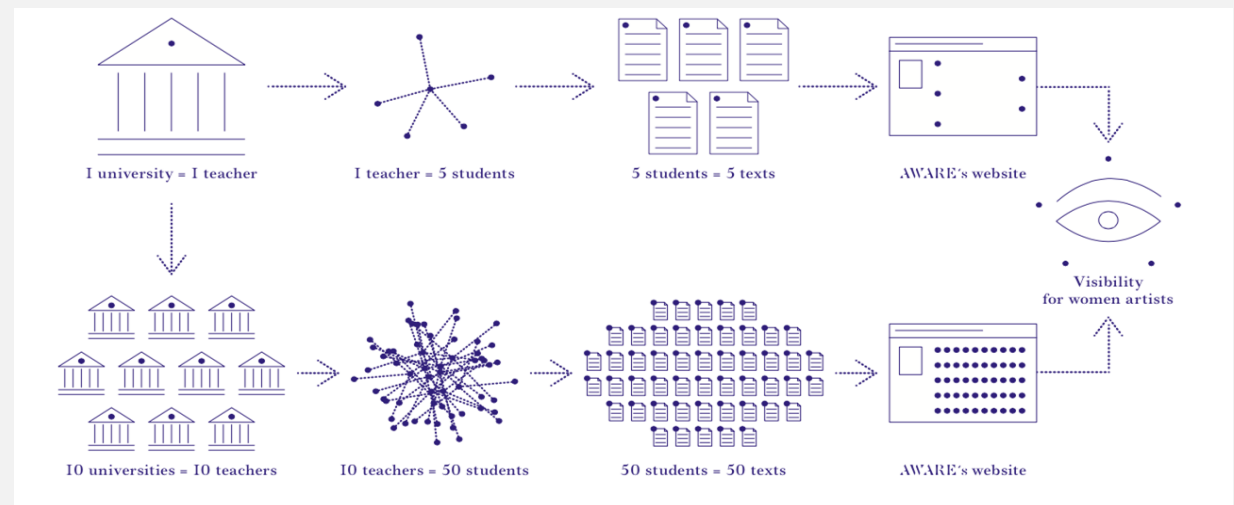
博物館、芸術機関、大学などの機関と提携して、会議、勉強会、座談会、美術館鑑賞イベントなど、何百人もの訪問者や参加者を集める AWARE イベントを累計100回開催しました

## AWARE Overview

毎年、フランスのアートシーンとつながりのある女性アーティストに贈られる **AWARE 賞**は、フランス文化省との提携により、中堅アーティストと 40 年を超えるキャリアを持つアーティストの両方に授与されます。2014 年以來、**15 人のアーティストが AWARE 賞を受賞**しています。AWARE は、優秀賞受賞者のインタビューをサイトで掲載し、中堅アーティスト賞受賞者は、A.I.R. ギャラリーとの協力によるニューヨークでのレジデンスや、国立芸術センター (CNAP) コレクションによる作品のコレクションなどの特典を受けます。

**TEAM: Teaching, E-Learning, Agency, Mentoring** (教育、Eラーニング、エージェンシー、メンタリング) は、AWAREの国際研究ネットワークであり、学者が作成した女性アーティストに関するリソースの収集と出版、ジェンダー問題に取り組む新世代の美術史家の育成に貢献しています。世界中から集まった**80人**の研究者と学生で構成されています。

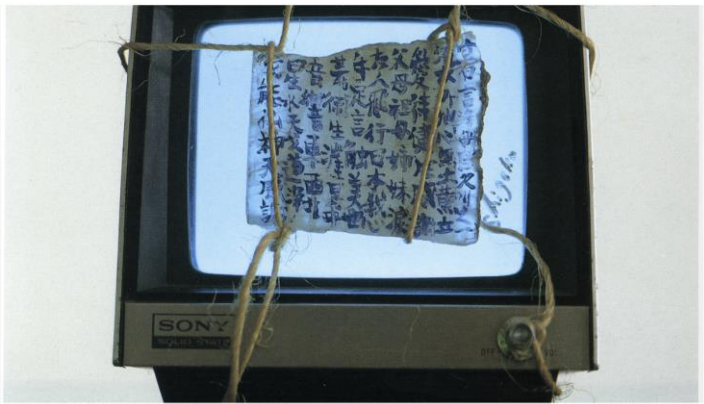
**AMIS : AWARE Museum Initiative and Support** は、美術館によって展覧会やコレクションのために制作された女性アーティストに関する研究を集め、共有することを目的としています。その目的は、文化史の物語に女性を含めることに尽力するディレクターとキュレーター間の交流を可能にすること、ジェンダーの観点からコレクションに関する研究を刺激すること、コレクション、展覧会、コレクション、教育普及活動を通じて女性アーティストの作品を強調する慣行を奨励すること、AWARE Web サイトを通じてこの研究を国境を超えユーザーと共有することです。



[AWARE-Japan](#) は、パリを拠点とする AWARE の使命である、18 世紀、19 世紀、20 世紀、21 世紀の女性アーティストの貢献について、日本での認知度の向上を目的とし、2024 年に設立されました。

この新たな日本語セクションは、日本のアーティストを発見するための入口であり、新たな読者にとってもウェブサイトで掲載しているアーティストの略歴や記事へアクセスしやすくするものです。このセクションは、日本の専門家や機関との協力のもと過去4年間に行われた「19世紀から21世紀の日本の女性アーティスト」、「TEAM: Teaching, E-learning, Agency, Mentoring」、「女性アーティストとニューメディア」といったプログラムを基に生まれました。

二つの脳で生きる：  
 1960年代～1990年代、  
 ニューメディア・アートで活躍した  
 女性アーティストたち



小泉節子 (Shizuko Kusano: Thanks to My Accosters) 1981年、22.9×20.3×27.9cm  
 © Galerie Hubert Wisner Wien | ADAGS, Paris

AWAREは数年をかけて、特に日本にスポットを当てた国際的なアプローチにより、ニューメディアアートの女性アーティストに関するオンラインのデータベースを構築しました。1960年代から1990年代までに、ビデオアート、アルゴリズムやデジタルの分野とテクノロジーの発展に関連する実践と取り組みのあったアーティストを取り上げています。

各アーティストの経歴は、AWAREのウェブサイトで公開されています。2025年に日本で予定されているAWAREのイベントや関連記事の発表を通して、ニューメディアにおける女性アーティストの貢献に光を当て、過去のアーティスト

19世紀から21世紀の  
 日本の女性アーティスト



上村松園《雪》1940年、絹本着色、57.5×46.3 cm、所蔵：松島美術館










「19世紀から21世紀の日本の女性アーティスト」は、世界的な文化史の中で、日本の女性アーティストたちの芸術作品制作と貢献を浮き彫りにするために、2022年に開始された4年間の研究プログラムです。このプロジェクトは、これまでの学識や現在行われている研究活動を土台として、19世紀から今日に至るまで、あらゆる芸術運動や潮流の中の日本女性の存在を明らかにする研究を継続するものです。

現代美術、写真、日本画、洋画、女性芸術家に関する専門家で構成される研究委員会が、ジェンダーの観点から日本のアートシーンの多様性を描き出すことを目的にこのプロジェクトを統括します。委員会は、AWAREウェブサイトに取り上げるアーティスト、研究テーマ、執筆者を決定することで当プログラムに貢献しています。

[https://awarewomenartists.com/programmes\\_japan/](https://awarewomenartists.com/programmes_japan/)

AWAREについて プログラム 経歴 記事 の支援

## 作家

 榎橋 朝子 1959   東京都生まれ	 小倉 遊亀 1895   徳島県生まれ 2006   東京都にて逝去	 島 成園 1912   北海道生まれ 1970   兵庫県宝塚市にて逝去
 上村 松園 1871   京都府生まれ 1948   奈良県にて逝去	 三岸 節子 1945   愛知県生まれ 1999   神奈川県にて逝去	 丸木 俊 1912   北海道生まれ 2000   埼玉県にて逝去
 辰野 登恵子 1950   長野県生まれ 2014   東京都にて逝去	 谷口 富美枝 1910   東京都生まれ 2001   カリフォルニア州サンゼルスにて逝去	 石内 都 1947   群馬県利根市生まれ

[https://awarewomenartists.com/artists\\_japan/](https://awarewomenartists.com/artists_japan/)